



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和8年5月号
〒507-0814 多治見市市之倉町 10-381
TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

新年度が始まり、子ども達の元気な声が校舎に響き渡っています。そんな子供たちが頑張る姿や学校の様子をできる限り毎日 HP にアップしています。お時間があるときにご覧ください。

『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』 ロバート・フルガム著 校長

昨年もこのタイトルの本をもとに書かせていただきました（ひょっとしたら覚えていてくださる方もおみえかもしれません）。実はこの本の紹介はすでに 30 年近く行っています。担任した子はもちろん、学年主任や生徒指導主事になってからも学年や全校の子たちへ年度の早い時期に紹介を続けていました。ほとんどが中学校勤務でしたが、中学生も「はっ」と思うことがあり、そして毎年のように紹介している私自身も、この単純で当然のことができていないことに気づき、再び改めようと思うのです。そこにはこんなことが書かれています（一部を抜粋して紹介します）。

人間、どう生きるか、どのようにふるまい、どんな気持ちで日々をおくればいいのか、本当に知っていなくてはならないことを、全部残らず幼稚園で教わった。人生の知恵は大学院という山のてっぺんにあるのではなく、幼稚園の砂場にうまっていたのである。わたしはそこで何を学んだらうか。

**何でもみんなで分け合うこと。 ずるをしないこと。 人をぶたないこと。
使ったものはかならずもとのところに戻すこと。 ちらかしたら自分で後片づけをすること。
人のものに手を出さないこと。 誰かを傷つけたら「ごめんなさい」と言うこと。
食事の前には手を洗うこと。 トイレに行ったらちゃんと水を流すこと。
おもてに出るときは車に気をつけ、手をつないで、はなればなれにならないようにすること。
不思議だな、と思う気持ちを大切にすること。**

人間として知っていなくてはならないことはすべて、このなかに何らかの形で触れてある。このなかから、どれなりと項目を一つ取り出して、知識の進んだ大人向けの言葉に置き換えてみるといい。そして、それを家庭生活や、それぞれの仕事、国の行政、さらには世間一般に当てはめてみれば、きっとそのまま通用する。

わたしたちみんなが、そう、世界中の人々が、三時のおやつにクッキーを食べてミルクを飲み、ふかふかの毛布にくるまって昼寝ができたら、世の中どんなに暮しやすいことだろう。あるいはまた、各国の政府が使ったものはかならずもとのところに戻し、ちらかしたら自分で片づけをすることを基本政策に掲げて、これをきちんと実行したら世界はどんなに良くなるだろう。

それに、人間はいくつになっても、やはり、おもてに出たら手をつなぎ合って、はなればなれにならないようにするのが一番だ。

市之倉小学校の子たちも、授業や行事、給食時間や掃除、休み時間様々な場面で知らず知らずのうちに「人生に必要な知恵」、つまりどう人と関わるか、何を大切にしなければいけないかをどんどん学んでいきます。ただその貴重な勉強が通り過ぎてしまわないように、学校としてその都度、たとえちょっとしたことでも今学んだ（経験した）ことを丁寧に伝えて成長の支えをしていきたいと思えます。